

marie claire

👉 marieclairejapon.com

6月1日からニューサイトが
スタート!

27th May, 2021
No.149



Relaxing Summer

心地よい夏が始まる

本サービスを利用した営利目的の活動行為、
あるいは本サービスを通じて入手した情報を
複製、販売、出版その他
私的利用の範囲を超えて使用する行為の
一切を禁止します。



Welcome to marie claire vol.149

—— 昨年の「グランメゾン東京」、今年初めの「オー!マイ・ボス!恋は別冊で」に続き、3回目となるTVドラマとのコラボレーションが実現しました。タイトルは「リコカツ」。現在TBSテレビ金曜夜10時に放映中です。

離婚を模索する、価値観の異なる夫婦を通じて、男女のあり方を考えるのがドラマのテーマです。

日本の離婚率は、現在欧米並みに高くなっているそうですが、昔と比べて人生も長くなり、自立している女性も多く、夫婦でいるよりも、もっと自由に生きたいという願望が女性には強くなっているのかもしれない。

さてドラマのほうですが、「グランメゾン東京」では『マリ・クレール ダイニング』というフランスの料理雑誌の編集長役を富永愛さんが演じ、また「オー!マイ・ボス!恋は別冊で」では菜々緒さんがヨーロッパの『マリ・クレール』の元編集長だったという設定でした。

今回はヒロインの北川景子さんが、架空の出版社「泉潮社」の『マリ・クレール モード』編集部勤務する編集者という設定です。

『マリ・クレール』は1937年にフランスで創刊されましたが、1982年日本で最初の海外提携誌が発行されるようになり、その後各国でも発行が開始され、現在では約30の国と地域で発行されています。近年はコロナ禍などのため開催されていませんが、2年に一度、各国の編集長が集まり、自国の状況を説明するという会議が開催されています。また「パリ・ファッションウィーク」の期間中、パリ取材に来ている各国の編集長や編集者を招いてのティーパーティが『マリ・クレール』本社主催で開催され、友好を深める機会を持っています。

海外で開催される会議やティーパーティでは出席者はほとんど女性です。女性誌なのだから当然だと考える向きもあるかと思いますが、そもそも各国の編集長は全員女性で、実は男性の編集長は日本だけなのです。

ドラマ「リコカツ」では『マリ・クレール モード』の編集部が時々舞台として登場しますが、『マリ・クレール モード』誌編集長を演じる松永天馬さんは、そういう意味でも現実を忠実に再現しているのかもしれない。

先日、編集長役の松永天馬さんと対談する機会がありました(詳しくは「marieclairejapon.com」を見ていただきたいと思います)。対談場所はドラマの第2話の舞台となった「ラルフ ローレン」表参道店にあるショールーム。

ファッションにも大変興味があるという松永さんは、とてもユニークな経歴の持ち主。大学で神学を学び、途中で日本のある大学に国内留学。卒業後ファッション系の出版社に短期間ですが就職もしたことがあるそうです。学生時代から詩や演劇、映像などの分野で活動をしていたのですが、ポップロックバンド「アーバンギャルド」を結成し、バンドのリーダーでもありヴォーカル、作詞を担当。さらにソロ活動もしています。

小説家として何冊も著作があり、また詩人としては「詩のボクシング」でも優勝経験が。大学やNHK文化センターなどで「言葉の世界」について教えていたりもします。そして5年前からテレビドラマにも出演するようになり、今回の出演となったとのこと。

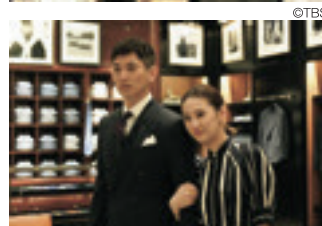
マルチな才能の持ち主である松永さんには、対談でとても多くを語っていただきました。映像もまた松永さんの魅力が十分に感じられるものになっています。彼のファッションに対する考え、また仕事への意気込みを感じていただければと思います。

2021年5月27日

田居克人
Katsuto Tai, marie claire 編集長



「リコカツ」(TBS系) 毎週金曜夜10時放送
https://www.tbs.co.jp/rikokatsu_tbs/



Contents

- 5 Welcome to marie claire /
- 6 Cover Story: Charlotte Gainsbourg /
- 9 fashion story: Relaxing Summer /
- 14 LE LABO /
- 15 Art: Fashion in Japan 1945-2020 /
- 16 Cinema: Yuya Yagira's future in his 30s /
- 17 Art: Espace Louis Vuitton Osaka /
- 18 Cuisine: Armani / Ristorante, shop list

cover

photo: Luna Conte
 realization: Philomène Piégay
 hair: Yoann Fernandez
 make-up: Sandrine Cano Bock (Artist)
 nail: Laura Forget (Artist)
 assistant styling: Agathe Gire
 assistant photo: Florent Redolfi
 production: Zoé Martin
 assistants: Ludovic Del Puerto, Alix Cantal
 jacket, blouse, short pants, stockings:
 SAINT LAURENT by Anthony Vaccarello
 (SAINT LAURENT Client Service)

marie claire

2021年5月27日発行 第10巻 第4号 (通巻149号)

発行人 Publisher:
安部順一 Junichi Abe

編集長 Editor in Chief:
田居克人 Katsuto Tai

副編集長 Deputy Editor in Chief:
高橋直彦 Naohiko Takahashi

アートディレクター Art Director:
木村裕治 Yuji Kimura

クリエイティブ ディレクター Creative Director:
菊池直子 Naoko Kikuchi

ビジネス スペシャリスト Business Specialist:
斉賀明宏 Akihiro Saiga

編集部 Editorial Team:
部長 Manager:
横山恵子 Keiko Yokoyama

大林理子 Riko Obayashi
 高波麻奈美 Manami Takanami
 菊池美裕紀 Miyuki Kikuchi
 阿部美侑加 Miyuka Abe
 柳澤梨奈 Rina Yanagisawa

パリ特派員 Paris Correspondent:
須山佳子 Keiko Suyama

デザイン Design:
木村裕治 Yuji Kimura
佐藤 幹 Miki Sato

発行 Publication:
読売新聞東京本社
〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1
tel: 03-6739-6303
THE YOMIURI SHIMBUN

記事制作 Production:
中央公論新社
〒100-8152 東京都千代田区大手町1-7-1
tel: 03-5299-1810
CHUOKORON-SHINSHA, INC.

印刷 Printing:
共同印刷
KYODO PRINTING CO.,LTD

MARIE CLAIRE INTERNATIONAL

Executive director:
Jean de Boisdeffre
Deputy director:
Félix Droissart
Deputy director (marketing and special operations):
Nicia Rodwell
International editorial director:
Séverine Harzo
International fashion and beauty chief editor:
Sylvie Halic
International commercial director:
Elodie Bretaudeau Fontailles
International deputy commercial director:
Elisabeth Barbier
Syndication director:
Thierry Lamarre

©MARIE CLAIRE ALBUM 2021
 ©THE YOMIURI SHIMBUN 2021
 本誌掲載の記事・写真、イラストの無断転載を禁じます。

※本紙に掲載されている商品の価格は、特記されている場合をのぞき、すべて税込みです。

牡牛座taurus 4月20日→5月20日★望みを叶え、本心を現実にする時。心の奥に眠っていた情熱が目覚めて、本心からの望みが明確になります。大丈夫。必ずうまくいきます。できることからチャレンジしていきましょう。

牡牛座taurus 3月21日→4月19日★楽しむ時。あなたが夢中になれるもの、喜びを感じることがはなんですか？自分を楽しむことは、自分を成長させるということ。身体を動かしたり楽しむことにエネルギーを注ぎましょう。

6月1日からスタート

marieclairejapon.com

Charlotte シャルロット・ゲズブールが今語る真実 Cover Story

Gainsbourg

photos: Luna Conte
realization: Philomène Piégay
hair: Yoann Fernandez
make-up: Sandrine Cano Bock (Artist)
nail: Laura Forget (Artist)
assistant styling: Agathe Gire
assistant photos: Florent Redolfi
production: Zoé Martin
assistants: Ludovic Del Puerto, Alix Cantal

伝説のカップルの娘として幼い頃から注目を集め、フレンチアイコンとして世界中で愛されてきたシャルロット・ゲズブール。この夏、50歳を迎える彼女は、現在も映画に新しいアルバムにと精力的に活躍し、母であるジェーン・パーキンのドキュメンタリー制作にも取り組んでいる。これまで何かとミステリアスだった彼女だが、今回は自分について、さらに父セルジュ・ゲズブールや家族についても真摯に明かしてくれた。

あなたにとってファッションとは？

16歳くらいの頃から自分で着るものを選び始めたの。その時はとにかく“服”がほしかった！古着を探して蚤の市に通ったわ。今は逆に新しいものも好き。考えが変わったのは、当時「パレンシアガ」にいたニコラ・ジェスキエルに出会ってからね。彼が私にファッションを教えた。それまではレッドカーペットなんてうんざりだったけど、ニコラのおかげでそれが楽しみになったの。私は胸もないし、ひよっつと細長い体をしている。そういうコンプレックスを乗り越えさせてくれたのよ。姉のケイト・パリー（写真家・2013年逝去）にも助けられたわ。オートクチュールのドレスを着た私の写真を撮ってくれた。彼女と一緒にいると、自分のことを美しいと思えたの。それから、アンソニー・ヴァカレロに出会い、「サンローラン」に就任した彼を追いかけたわ。私は街中で注目を浴びたくないし、スカートもはきたくない。だんだんメンズの服のほうが好きになっている気がする。今はロックダウンの影響もあって、日曜日にはスウェット姿。そんな自分を前は想像もしていなかった。でもファッションの面白さを再発見できるなら、きっとそれは素敵なことね。

父、セルジュ・ゲズブールについて今語ることは？

この3月に父の30周年忌を行ったわ。初めてのことよ。本当は長いこと抵抗を感じていたの。けれど、今は違う。フランスから遠く離れて暮らしたことで、パリのヴェルヌイユ通りに開くミュージアムの構想も練ることができたわ。父が暮らしたあの家は私にとって記念碑のようなもの。やっと父に関して語る心の準備ができたの。以前は、気の利いたエピソードをたくさん話せないことを恥じていた。何も父



グラマラスなレオパード柄のコートをデニムのショートパンツと合わせ、さらっと着こなすのがシャルロットらしい。コート ¥605,000 キャミソール【参考商品】（ともにパコ ラパンヌ / エドストローム オフィス） ショートパンツ ¥84,700 パンツ ¥143,000【参考価格】 スッキング【参考商品】（すべてサンローラン バイ アンソニー・ヴァカレロ / サンローラン クライアントサービス）

のことを知らないんじゃないかってね。他の人の話の方が、私の思い出よりずっと意味があるように思っていたのよ。ただ、父の歌はまだ聞くことができないわ。でも、私の子供が聞いてくれていると幸せな気分になるの。

母、ジェーン・パーキンのドキュメンタリーとは？

着手したのは、3、4年前。彼女が日本でコンサートを開いた時よ。ひっそりと始めたの。私にとっては、母に近づくための手段だった。彼女を美しく撮りたいとい

うのもあったしね。けれど、最初は撮影自体が気に入らなかったみたい。「撮るのをやめて」と言われたわ。でもその後で映像を見せたら「大丈夫よ。続けて」って！帰ってから、パリやブルターニュ、スタジオで大半を撮影した。コンサートがメインだけれど、本当は彼女のパーソナリティに興味があったのよ。たくさん話したわ。親密すぎて、少し居心地が悪く感じることもあったほどよ。撮影はほとんど完了しているの。でも母に見せるのはすごく怖い。彼女は自分の映像を見るのが好きじゃないのよ。そこは私も受け継い

でいると思うけれど。それでも、少しは気に入ってくれると嬉しいわね。

3人の子供たちとの生活は？

長男のベンがスクリーンデビューを果たした時は感動したわ。昔の自分を見ているようだった。ベンも映像の中の自分を見るのは嫌みたいね。私も通った道よ。長女のアリスはニューヨークの生活が気に入っていて、そのまま向こうの学校に通っているの。一番下の、9歳の娘は今パリで私たちと一緒に暮らしているけれど、3人の生活はまったく新しいものになっているわ。

長年のパートナー、3人の子供たちの父親であり、映画監督、俳優のイヴァン・アタルとの関係は？

彼とは18歳の頃に知り合って、1年後に付き合った。その後、私は父を亡くした時、ひどい状態だったけど、それに我慢強く寄り添ってくれたの。一緒に仕事をして、同じプロジェクトに携わることで関係は深まったけれど、同時にプレッシャーも感じる。彼は厳しいから、ときどき私が十分なレベルに達していないんじゃないかと思うこともあるの。まだコンプレックスを克服できていないのよ！

ブノワ・ジャコ監督の新作映画『Suzanna Andler』（日本公開未定）に出演して感想は？

マルグリット・デュラスの小説をもとにした映画なんだけれど、本物の“沈黙の文学”というものがあって。そこには、“沈黙”が文字よりも雄弁に記されているの。誰かと一緒にいて心地よいというのは、沈黙が続いても気まずくならないということ。私は無口だから、たくさんの沈黙を体験したわ。ディナーでも人の話を聞くだけ。何も面白いことが言えないから。



シャルロット・ゲズブールが信頼を寄せるアンソニー・ヴァカレロが手がけた「サンローラン」の新作をセクシュアルにまもって。ジャケット ¥594,000 ボディスーツ ¥253,000【参考価格】 ショートパンツ ¥363,000【参考価格】 スッキング【参考商品】（すべてサンローラン バイ アンソニー・ヴァカレロ / サンローラン クライアントサービス）

Relaxing Summer

夏に映える最新モード

fashion story

photos: Yusuke Miyazaki (SEPT)
styling: Tsuyoshi Noguchi
hair: ASASHI (ota office)
make-up: Asami Taguchi (home agency)
model: Maria M. (STAGE)
direction: Naoko Kikuchi

自然回帰や旅への憧れがつのる今、
心を揺さぶられるのは、リラックス感に包まれ、
ポジティブな気分を呼び覚ますスタイル。
軽快でラフなムードとモダンセンスが引き立つ、
トップブランドの最新ルックをまとい、
明るい太陽の下へ飛び出して。



メゾンと繋がり深い女優たちにオマージュを捧げた今季のコレクション。モトーンの小花プリントにフリルが揺れる可憐なマキシドレスは、大胆なスリットや肩を出したヘルシーなデザインで、現代のミューズのスタイルへと進化させて。ドレス¥1,289,200 ネックレス¥249,700 ピアス¥61,600 ヘルム¥152,900 シューズ¥129,800(すべてシャネル/シャネル カスタマーケア)

蟹座 Cancer 6月22日→7月22日★素晴らしい自分に気づく時。自分がダメだと思つ時それはあなたが自分の人生と真剣に向き合っているからです。あなたは素晴らしい人。大丈夫です。善し悪しはありません。



ミウッチャ・プラダとラフ・シモンズによる新生「プラダ」を象徴するこのルック。ジャージーコットンのフーディとスカート。スポーティなコーディネートは、アーティストのピーター・デ・ボッターによるグラフィックや、大きなトライアングルロゴがモダンさを主張する。フーディ¥218,900 中に着たトップ¥77,000 スカート¥272,800 [すべて予定価格] (すべてプラダ/プラダ クライアントサービス)



ほかしたようなヘザー調のストライプのカラフルな彩りに心躍むシャツドレス。清涼感溢れるコットン素材が素肌に心地よく、歩くたびに風をはらんで軽やかに広がるシルエットもリラックス気分を誘う。ドレス¥1,210,000 ベルト¥137,500 ネックレス¥91,300 リング¥53,900 [参考価格] シューズ¥113,300 (すべてディオール/クリスチャン ディオール)

獅子座 7月23日 - 8月22日 ★進化する時。今のあなたは過去のあなたとは違います。安心して前に進んでください。もし、何でもかまらざらしたらあなたは何かをしますか？フワフワを抱きしめて前進しました。



ジェンダーの境界線を越えたスタイルを探求した今シーズン。オーバーシルエットがマニッシュな、やわらかいリヨセルのトレンチコートとパンツに、鮮やかなグラフィックや襟元のチェーンが目を引きニットトップスで今の気分を利かせて。コート¥654,500 トップス¥162,800 パンツ¥196,900【参考価格】ピアス¥83,600 ベルト¥113,300(すべてルイ・ヴィトン/ルイ・ヴィトン クライアントサービス)

6月1日からスタート
marieclairejapon.com



ナチュラルな風合いを生かしながら、張りのあるしっかりとしたリネン素材で構築的なフォルムを生み出したホルターネックドレス。コルセットのようなステッチ、優雅に広がるフレアシルエットが、ドラマティックな佇まいを演出する。ドレス ¥396,000 ピアス ¥49,500 ネックレス ¥107,800 シューズ ¥155,100 (すべてポットガ・ヴェネタ / ポットガ・ヴェネタ ジャパン)

戦後・日本・ファッション。その全体像を見渡す

text: Naohiko Takahashi
高橋直彦 マリクレール副編集長

今展で触れている2020年時点の日本ファッションの状況を素描するため、26年前まで時間を遡ってみよう。参照にするのは、1995年春から初夏にかけて東京の目黒区美術館を中心に開かれた「戦後文化の軌跡 1945-1995」展。敗戦から50年の節目に約600点の資料を通して日本の視覚文化を振り返った。美術作品に加えてマンガや家電製品が並び、テレビCMも「作品」として流れ、多種多様な展示に当時、圧倒された記憶がある。

ファッションにもスペースが割かれていた。しかし、展示はすでに評価の定まっていたコム・デ・ギャルソンの作品や服飾雑誌の『装苑』など、各数点のみ。「服好き」の身としては正直、「付け足し」の印象をぬぐえなかった。手元にある図録を確認すると、「ファッション」の展示品は15点。600点中15点——。それが95年当時の「文化としてのファッション」の位置づけだったのだろう。

時を経て今展では、戦後日本のファッションだけをテーマに約820点の作品が並び、約70点の映像も流れる。ブランドのスターやノバルティエ、そしてショーのチラシやチケットなどの展示も充実。そうするこ

PUGMENTのコレクション作品まで、服飾品だけで315点。それらが国立新美術館の高さ5メートル、広さ2000平方メートルの空間を賑やかに彩る様子を想像してみたい。15点から820点へ——。「戦後文化」展の開かれた1995年から四半世紀を経て、ファッションが日本を代表する文化になったことを来館者は体感するだろう。

展示は戦前のモダン文化に触れたプロローグで始まり、戦後もまなく盛んになった洋裁文化を紹介する第1章から、「ジェンダーレス」や「サステナブル」といった言葉で形容される現在の装いまで年代別に8章に分けて構成。ちなみに「戦後文化」展の開かれた90年代にも1章を割り、ストリートファッションについて当時のスナップ雑誌の展示を含めて多角的に紹介している。

実際、服だけでなく、「消費を促す情報伝達のあり方とその変遷」にも目を向けていることが企画の特徴だ。そのために各時代の流行を演出した雑誌類を手厚く並べ、約70点の映像も流れる。ブランドのスターやノバルティエ、そしてショーのチラシやチケットなどの展示も充実。そうするこ

とで、流行の相貌が生々しく浮かび上がってくる。もともと、ファッション周辺の展示品の旬は一瞬だ。収集も個人のコレクター頼みの場合が多く、博覧にかけた企画担当者の苦労はいかばかりだったか。

デザイナーやブランドといった送り手だけでなく、服を着る受け手の立場に積極的に焦点を当てているのも今展の見どころだ。80年代前半、ツッパリ男子学生の愛用した「変形学生服」を展示しているのはその一例。デザイナーによる「クリエイション」の対極に位置し、着る側が自己顕示を目的に制服を勝手に改変した。オールドソックスな服飾史や洗練されたモード誌には登場することのない装いだが、それを丁寧に紹介しているのは企画担当者の見識だろう。

今展は本来、2020年の東京五輪・パラリンピック開幕に合わせ、インバウンドへのアピールも意識しつつ昨年、開催されるはずだった。それが新型コロナウイルスの感染拡大の影響で1年延期された。「着飾る場を失った」21年時点の日本ファッションの状況は、前年のそれと大きく変わってしまったが、感染予防のために欠かせなく

なったマスクに様々な意匠が施され、利用者によってカスタマイズされていく様子を見ていて、ファッションとはしぶといものだとつくづく思う。その「しぶとさ」を今展で確認してみるのも面白いかもしれない。

いずれにしても、日本のファッションをテーマに今後、これほど大がかりな総合展が開かれる機会はないだろう。展覧会のサブタイトルにもあるように、「流行と社会」が装いを通して近似していく様子を目の当たりにする貴重な機会になりそうだ。



「FRUITS」
8月号 No.13 表紙
1998年
ストリート編集室発行
個人蔵

展覧会情報
「ファッション イン ジャパン 1945-2020 一流行と社会」
会場: 国立新美術館 企画展示室1E(東京・六本木)
会期: 6月9日(水)~9月6日(月) 火曜日休館
<https://fj2020.jp/>



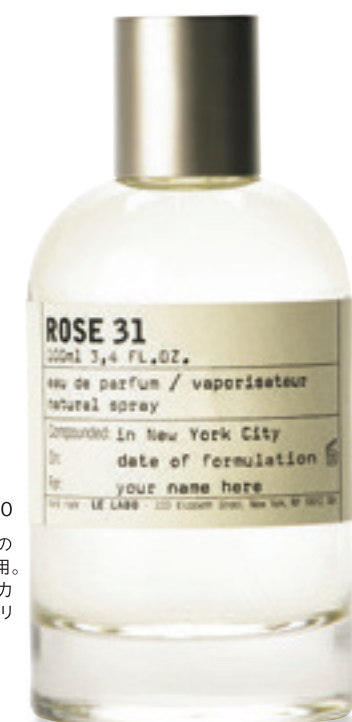
2020年9月23日~9月22日★愛に包まれる時あなたは誰に頼られています。何をしたらいいかわからない時はその意識から離れましょう。自分がホッとすること、自分が楽になることを無条件に受け入れたいものです。



1.ボトルがディスプレイされたシンプルな空間は、ラボ(研究室)の名にふさわしい清潔さを演出 2.注文を受けてから、香料とアルコール、水を調合するフレッシュブレンドで、ハンドメイドへのこだわりを体感。代官山店ではさらに、同じボトルへ詰め替えるレフィルサービスも実施 3.ラベルには、日付と、23字以内でメッセージや名前をその場で入れて、パーソナライズできる



スモーキーでクールな印象を残す
「SANTAL 33」
100mL ¥34,100
古き良きアメリカのスピリッツを感じさせるユニセックスな香りは、世代や性別を超えたブランドアイコンに



ジェンダーフリーなローズの香り
「ROSE 31」
100mL ¥34,100
名高いグラス産のローズオイルを使用。甘さだけではない、力強さも備えたミステリアスな香り



東京限定香りの奥行きを堪能して
「GAIAC 10」
100mL ¥57,200
世界15都市の店舗限定で販売されるシテイエクスクルーシブコレクションから、ウッディな落ち着きで魅せる東京限定の香り

本当に愛せる香りとの出会いを、香りのプロ“ソウル”がお手伝い

2006年にニューヨークに1号店をオープンした「ル ラボ」は、その名が示すとおり、クラフトマンシップを追求し、芸術的なフレグランスを創り出すラボ(研究室)だ。創業者のファブリス・ペノーとエディ・ロシュが共有したのは、ユニークで特別なものを作りたいという情熱。ニューヨークという街と、侘(わび)・寂(さび)の概念、人間と自然の関係について綴った作家・詩人ソローの思想が育んだ「ル ラボ」のスタイルに共感する人々は増え続け、世界で160を超える店舗を展開している。

代表製品のオード パルファムは、17種類

のクラシック コレクションを展開。材料の多くは、南仏・グラス産の高品質な素材を厳選し、時間をかけて丁寧に調合。コレクション名に添えられたナンバーは、使用する香料の数を表しており、香りの芸術作品と称える声も。一方で、ガラスのボトルは薬瓶のようにシンプル。余計なものをそぎ落とし、中身のクオリティを求める潔さの象徴と言えるだろう。

そんな「ル ラボ」の哲学を体現しているのが、ニューヨークに次ぐ路面店2号店の代官山店。選んだ香水をその場で調合するフレッシュブレンドサービスを行う店舗だ。「ル ラボ」が誇る“ソウル”と呼ばれるスタッフの、プロフェッショナルな接客も魅力。ひとりひとりが満足できる香りと出会うために、ソウルたちはそれぞれの感性と、わかりやすい言葉で伝えてくれる。そのひとり、高畑義夫さんが、素敵なエピソードを教えてくださいました。



「オンソン 9 クラシック キャンドル」
245g ¥11,000

News! キャンドルコレクションに「オンソン 9」が新登場!



“おうち時間”を、より愛おしむ。世界中が大きく変化したこの一年で、ホームフレグランスの人気は、より一層高まっているという。ハンドソープ・クリームなど新習慣に欠かせないアイテムはもちろん、生活空間にもお気に入りの香りを取り入れたい。選ぶなら、素材も製造工程も納得のいく、よりよいもの。全11種類の「ル ラボ」のクラシック キャンドルは、ソイワックスをベースに、芯はピュアコットン。他の製品と同様に、遺伝子組み換え作物を使わず、動物実験も行わないヴィーガン仕様で、再利用できるガラスに手作業で注がれている。場所や気分に合わせて選んでみては。

「オンソン 9」の香りの核となるのは、かつて金も価値があるとされ、古来、日本のお香でも使われてきたフランキンセンス(乳香)。温かみのあるアンバーとともに、気分を落ち着かせてくれる。さらに、スモーキーでウッディなバチヨルにクロロアのスパイスがアクセントをプラス。神秘的で奥深い香りが、心と空間に静けさをもたらすはず。

LE LABO

シンプルで上質。纏うほどに魅せられる暮らしの中に「ル ラボ」の香りと温もりを

南仏・グラス生まれ、ニューヨーク育ちのスローパフューマリー「ル ラボ」が、SNSなどを通じて、高感度な人々の注目を集めている。代官山店を訪れ、その哲学とスタイルについてうかがった。

text: Satsuki Tadokoro

天祥座 2020年9月23日~10月22日★笑顔が素敵な時、あなたの笑顔は、とても素晴らしいものです。好きなことを楽しんでください。あなたの輝きは周りの人も前向きにするでしょう。

オープンを飾る2人のアーティストの共演

photos: Keizo Kioku / Louis Vuitton

現代アートとそれに影響を与えた20世紀の作品に特化したコレクションを所蔵する芸術機関「 Fondation ルイ・ヴィトン」。そのコレクションを展示するアートスペースが「エスパス ルイ・ヴィトン」だ。国内では2011年に「エスパス ルイ・ヴィトン東京」がオープンし、今年2月には、国内最大級の店舗「ルイ・ヴィトンメゾン 大阪御堂筋」の5階に、西日本初登場となる「エスパス ルイ・ヴィトン大阪」が誕生した。

このオープンを記念し、戦後の抽象表現主義の旗手、ジョアン・ミッチェルと、1970年代初めにミニマル・アート運動を牽引した彫刻家、カール・アンドレの、2人のアメリカ人アーティストの作品を紹介する「Fragments of a landscape (ある風景の断片)」展が、7月4日(日)まで開催されている。本展は、「Fondation ルイ・ヴィトン」の未公開の所蔵作品を世界各地の「エスパス ルイ・ヴィトン」で紹介する「Hors-les-murs (壁を越えて)」プログラムの一環。より多くの人々に所蔵作品に触れる機会を提供することを目的としている。

ジョアン・ミッチェルは、1950年代に画家としての活動をスタートし、「抽象的印象派」と呼ばれた女性アーティスト。本展では、才能の絶頂期に描かれた風景画



JOAN MITCHELL「CYPRESS」1980年
油彩、キャンバス(二連画) 220.3×360.7cm
Courtesy of Fondation Louis Vuitton



JOAN MITCHELL「SOUTH」1989年
油彩、キャンバス(二連画) 260.1×400.1cm
Courtesy of Fondation Louis Vuitton



ジョアン・ミッチェルの豊かな色彩と、カール・アンドレのミニマルな連なりが共鳴し合う展示空間
「Fragments of a landscape」エスパス ルイ・ヴィトン大阪での展示風景 (2021年)
Courtesy of Fondation Louis Vuitton

「UNTITLED」(1979年)や「CYPRESS」(1980年)を始め、新たにコレクションに加わった「MINNESOTA」(1980年)と「SOUTH」(1989年)などが壁面を飾り、炸裂する色彩が洗練された調和を織りなす。一方、カール・アンドレは、鉄やコンクリート、木材といった素材をそのまま使い、幾何学的に組み合わせた独自のスタ

イルで知られるミニマル・アートの巨匠。今回は、ウェスタンレッドシダー(ベイスギ)の材木を組み立てた作品「DRACO」(1979-2008年)が出品されている。会場では、一見背反する芸術潮流を持つ2人のアーティストの作品を、並べて紹介することで生まれる共通点や緊張感をゆつくりと味わってみたい。



JOAN MITCHELL「UNTITLED」1979年
油彩、キャンバス(三連画) 194.9×389.9cm
Courtesy of Fondation Louis Vuitton



JOAN MITCHELL「MINNESOTA」1980年
油彩、キャンバス(四連画) 260.4×621.7cm
Courtesy of Fondation Louis Vuitton

ルイ・ヴィトンのアートスペース「エスパス ルイ・ヴィトン」が東京・表参道に続き、この春、大阪・御堂筋にオープンした。その柿落としとなる注目の企画展をフォーカス。



photo: Daichi Ano / Louis Vuitton

Exhibition data

「Fragments of a landscape (ある風景の断片)」展

会期: ~2021年7月4日(日)
会場: エスパス ルイ・ヴィトン大阪
大阪府大阪市中央区心斎橋筋2-8-16
ルイ・ヴィトンメゾン 大阪御堂筋 5F
tel: 0120-00-1854
URL: espace-louisvuitton-tokyo.com
開館時間: 12:00~20:00
(緊急事態宣言発令中は11:00~19:00)
休館日はルイ・ヴィトンメゾン 大阪御堂筋に準じる
入場無料・予約不要
*会場内の混雑防止のため、入場待ちの場合あり



CARL ANDRE「DRACO」
1979-2008年
ウェスタンレッドシダー(ベイスギ)材
23個のパーツの連なり
(各30×91×30cm)
Courtesy of the artist and Fondation Louis Vuitton
© Adgop, Paris 2021

30代、柳楽優弥が見据える未来

interview & text: Saya Tsukahara

射手座sagittarius 11月22日~12月21日★人生の主人公は自分、前向きなビジョンが溢れる時。フワフワすることあなたのエネルギーを使いましょう。喜びからの行動を退却すれば、愛や豊かさを生み出していきます。

自らを「画狂人」と呼び、90年の生涯で3万点を超える作品を描いた葛飾北斎。独創的な浮世絵は海を渡り、ゴッホやモネなどにも影響を与えた。その人生を描いた映画『HOKUSAI』で、北斎の青年期を柳楽優弥、老年期を田中泯が演じている。絵師としての地位を確立した『富嶽三十六景』は、70歳を過ぎてから描かれた作品。青年期の資料はほとんど残されていないため、さまざまに想像することができる。柳楽は、若き日の北斎をどう演じたのだろうか。

「天才というイメージが強かったんですが、若い時は努力家で、葛藤していたのではないかと。ただひたすらに描き続けた結果、自分らしい絵の表現を見つけて、世界の北斎になっていったのではないかと。そういうイメージを持ちながら、現場に入りました。監督と北斎についてのいろいろな資料を調べたりしたのですが、知れば知るほど謎が深まる不思議な人。今と言うバンクシーのような印象を持ちました」

北斎は晩年に波を描き続けている。柳楽が気になったのは、「なぜ北斎は、波を描くことが得意だと気づいたのか」ということだった。

「北斎が波を描いたと思われる場所に、僕も釣りに訪れることがあります。あの景色を見て思うのは、いかにしてあれだけのダイナミックな波を描くことができたのかということです。北斎は喜多川歌麿や東洲斎写楽などの同時代に活躍する絵師たちと比較され、なかなか認められないなかで、自分を追い込んでいく。挫折と苦勞を味わって、死を思うほどのギリギリのところまで追い詰められて、海に向かったん



撮影: 米田 渉

だと思うんです。だからこそあの波の表現を見つけたのではないかと想像しました」

柳楽自身は、14歳の頃、映画『誰も知らない』でカンヌ国際映画祭最優秀男優賞を受賞し、鮮烈なデビューを果たした。以降、悩みながらもさまざまな役を演じ、30代の今に至っている。表現するうえで葛藤とどう向き合ってきたのだろうか。

「自分の表現を見つけれられたと思える瞬間があっても、すぐにそれが逃げていってしまふという感じです。これで大丈夫なんだという安心感はないですね。10代前半に賞をいただいたので、それを越えていき



©2021 HOKUSAI MOVIE

『HOKUSAI』
5月28日(金)より、全国ロードショー
配給: S・D・P

今年、31歳を迎えた柳楽優弥。映画『HOKUSAI』で葛飾北斎の青年期を演じている。自分自身の表現を追い求める、若き日の北斎に共鳴した点は。

柳楽優弥

俳優。1990年、東京都出身。2004年に映画『誰も知らない』でカンヌ国際映画祭最優秀男優賞を受賞。近年の出演作に、映画『泣くな赤鬼』『ザ・ファブル』『今日から俺は!!劇場版』『ターコイズの空の下で』、今後の作品に、『映画 太陽の子』、Netflix映画『浅草キッド』などがある。

たいというプレッシャーはずっとあります。北斎を演じて感じたのは、焦らなくてもいいんだということ。あきらめずに突き進んでいく北斎の生き方に、この映画をご覧になる方たちも元気をもらえんと思います」

今年、原爆の研究開発に携わる物理学者を演じた『映画 太陽の子』、ピートたけし役のNetflix映画『浅草キッド』など、公開作がいくつも控えている。

「作品が自分自身にとっての新たな挑戦という感じです。30代になったので、いろんな視点を持てるようになりたいと思うようになりました」

この1年は、コロナ禍で自分を見つめる時間になった。

「自信を持てたことと失ったことの両面がありました。船や食養生の資格を取るための勉強などは、充実した時間でした。今は発酵食に興味があって、お味噌も自分で作っています。一方で、俳優の仕事は作品の延期なども多く、いろんなことを考えさせられました。そのなかで、自分が好きなものにもっと関わりたいという欲も出て

きました。演じるだけではなく、短編を撮ってみるなど、違う角度からもアプローチしています。30代の努力は、40代に向けた先行投資だと思うので」

近頃、坂本龍一が過去に出演したドキュメンタリーを観ることが習慣になっているという。

「音楽はもちろん大好きですし、俳優としての一面も尊敬しています。世界を舞台に挑戦し続けていく姿は憧れます。僕も海外にチャレンジしていきたい気持ちはあるけれど、追えば追うほど逃げていく感じもあって。俳優はそこまで考えすぎず、ルールに構えていたほうがいいのか。そういうところは悩みますね。まずは日本で、自分に合う役柄に出合えたらいいなと思います。20代は個性の強いキャラクターを多く演じてきたので、今は家族や恋愛をテーマにした作品で、「普通」を演じてみたいですね」

——
スタイリスト: 長瀬哲朗 (UM)
ヘアメイク: 佐鳥麻子
シャツ¥26,400 (MORRIS & SONS / Bshop)
インナー¥13,200 (Unfil)

蠍座scorpio 10月23日~11月21日★可能性を感じる時。それはまるで新しい自分、あなたの可能性が自覚めたがっています。できることから始め、やりたくいことを行動に移しましょう。一歩動けば次の一歩がわかります。

山羊座capricorn 12月22日~1月19日★愛が循環する時。始まりはいつも喜びからです。喜びから愛を与えて、喜ばれ愛を受け取る、そんな循環の中に自分がある。感謝が溢れます。あなたのの中の愛が目覚めていきます。

フードロス食材で独創的なメニューを「アルマーニ/リストランテ」

photos: ©ARMANI / RISTORANTE

ラグジュアリーなレストランシーンでも今、サステナブルな取り組みが始まっている。東京・銀座の「アルマーニ/リストランテ」では、フードロス食材を活かした、目にも舌にも美しいコースメニューが誕生。

魚座pisces 2月19日→3月20日 ★楽しむ時。自分をもっと楽しませるにはどうしたらいいか？そこに意識を向けていきたいと思います。それはさらなる飛躍の前触れ。あなたの知らない側面が開花する時なのです。



神奈川の柑橘類、滋賀のトマト、新潟のアスパラガス、愛媛、鹿児島産の鮮魚など、各地からフードロス食材を調達

ジョルジオ・アルマーニがプロデュースするファインダイニングイタリアン「アルマーニ / リストランテ」は、フードロス食材を取り入れたコースメニューの提供をこの春、スタートした。

今回誕生したコースメニューは、フードロス問題を改善すべく、2020年に日本で設立された「FOOD LOSS BANK(フードロスバンク)」の協力のもと実現。食材自体に問題はないものの、不揃い、規格外となった野菜や、新型コロナウイルスの影響により出荷先を失い、廃棄予定だった食材を調達し、全メニューに取り入れられている。

同店のエグゼクティブシェフ、カルミネ・アマランテ氏は今回の取り組みについて「SDGsの問題に高い意識を持っているジョルジオ・アルマーニのレストランで、その哲学にもとづき、こうしたフードロスメニューをスタートできたことは、大変うれし

7皿のコースメニュー(ランチ/ディナー) ¥10,000 [税込・サービス料別] 1.愛らしい見た目に思わず歓声上がるアミューズ。形の揃っていないなど販売ができない柑橘類を活用し、春の山菜や、ピーズを練りこんだビスコッティとともに 2. 飲食店の時短営業などにより、出荷ができなくなった色とりどりのトマトを、湯むきやジェラートなどで仕上げたトマト尽くしの前菜 3. 不揃いや規格外と判断されたホワイトアスパラガスは、甘みを堪能できる2品目の前菜に。海ぶどうのトッピングもアクセント 4. スモークしたカンパチの Pasta。普段は使用しない部分を利用したルッコラのグリーンソースが見た目のおいしさもプラス 5. コロナ禍により出荷先を失った真鯛を主役に、ペコロスやグリーンピースを添えたメインディッシュ。真鯛の出汁に香り高いハーブソースをかけて 6. フレッシュな柑橘を使った口直しのデザート。実から白い綿の部分まで柑橘の魅力を余すことなく味わえる 7. カカオクリーム、ゼリー、カカオの白い綿の部分を利用したグラニテ、シロップなど、チョコレート作りの工程で捨てる部分を活かしたデザート

いです。1つのレストランで救い出せる廃棄食材は少ない量ですが、一人一人がフードロス問題を考えるきっかけになれば」と語っている。

アミューズからデザートに至るまで、独創的な全7皿が提供される今回のコースメニュー。その一皿一皿にアマランテ氏の思いが込められている。「フードロス食材そのものの個性と味わいをより強く感じていただけるよう意識しました。通常メニューと比べてまったく遜色のない仕上がりでなければ、コースをオーダーする方の満足感を得られないと思い、不揃いな農作物を利用しながらも、目にも華やかでわくわくするような料理に仕上げました。また、ヘルシーさも意識しています。非常に満足感がありながら、食べ終わった後にも重くなく、軽さを感じていただけたらと思います」

shop data

アルマーニ / リストランテ

東京都中央区銀座5-5-4

アルマーニ / 銀座タワー 10階&11階

tel: 03-6274-7005

営業時間: ランチ 11:30 ~ 15:00 (L.O. 14:00)

ディナー 18:00 ~ 23:00 (L.O. 20:30)

*最新状況は電話にてお問い合わせください



2



3



4



5



6



7

水瓶座aquarius 1月20日→2月18日 ★愛される喜びの時。あなたはそのまま愛される存在。周りに合わせたり比べる必要はありません。たくさんの愛に満たされ、身近な人との愛も深まります。

12星座占師 mai プロフィール★星の動きと独自の視点で感じたムードを言語化しながら、星座のストーリーを発信！絶妙なバランスで語られるメッセージは幅広い世代から支持されている。

次号予告 **marie claire** 6月24日刊行です
24th June, 2021

shop list 掲載商品のお問い合わせ先

unfil tel: 03-5775-3383 / エドストローム オフィス(パコ ラバンヌ) tel: 03-6427-5901 / クリスチャン ディオール tel: 0120-02-1947

サンローラン クライアントサービス tel: 0120-95-2746 / シャネル カスタマーケア tel: 0120-525-519 / Bshop(MORRIS & SONS) tel: 03-5775-3266

プラダ クライアントサービス tel: 0120-45-1913 / ボッテガ・ヴェネタ ジャパン tel: 0120-60-1966 / ルイ・ヴィトン クライアントサービス tel: 0120-00-1854

6月1日からスタート

marieclairejapon.com